



左からCX-5、CX-3、デミオ

大学キャンパス出張授業 自工会

自動車産業のトップが学生らにクルマやバイクの魅力や未来像などを講演する「大学出張キャンパス」—2015年はマツダのこがいまさみち小飼雅道代表取締役社長兼CEOが、10月6日、中央大学後楽園キャンパスでマイクを持った。

全国の大学を訪問して展開する自動車工業会主催の大学出張キャンパス。中大では、同企画初年度の2013年、多摩キャンパスでの富士重工業に続く2回目だ。

今回会場の後楽園キャンパス5号館の階段教室は超満員。別の教室をビデオ対応とし、計2会場に約930人が詰め掛けた。

マツダのクルマは、昨年モデルチェンジした『デミオ』がとくに好調で、欧州最大級の国際自動車ショー（9月、ドイツ・フランクフルト）でも大きな話題となった。

小飼社長は講演テーマの「今、私が伝えたいこと」のなかで、『これから社会人になる人たちに…』と題して、3つの提言をしてくれた。



超満員の講演会

分かりやすい提言に聴講の学生らはうなずいている。社会人の厳しさ、仕事の進め方を知った。学生のなかには「3つ提言、いまからでも実行に移せそうだね」と小さな声で隣席と話す人もいた。

同社長はこのほか、学生時代の体験、マツダ入社の際、仕事に関する考え方などを講演した。終了後、同社長は別会場に出向き、ビデオ対応だった聴講者にあいさつ、ここでも大きな拍手を受けた。

これから社会人になる人たちに

- ①関係者との事前の準備・計画・協議を徹底すること。一人で判断して、一人で動く、行き当たりばったりではダメ。
- ②創造的な仕事の進め方をする。受け身な仕事のやり方ではダメ。問題は自ら見出し、解決行動を起す。
- ③仕事をするには、何よりも使命感が不可欠。それが無いと仕事に力が入らないし、怠惰な方向に自分を持っていく。



講演するマツダの小飼社長 中央大学後楽園キャンパス

No Car No Life!

今、私が伝えたいこと

マツダ・小飼社長

講演後は学内に展示されたマツダ車4台の回りに人垣ができた。CX-5、CX-3、デミオ、ロードスター。4台はすべて最新型車で、色は燃えるようなレッド。

「運転席へどうぞ。ハンドルを握ってみてください」。スタッフに促されて学生らはドアを開ける。シートに座ってハンドルに触れた途端、笑顔がはじけた。こんなシーンが相次いだ。社長提言にあった「創造的な仕事」を肌で感じたことだろう。



ロードスター

中央大学法科大学院 全国最多の170人

司法試験合格者発表

平成27年度の司法試験合格者が9月8日、東京・法務省で発表され、中央大学法科大学院は170人の合格者を輩出した。合格者は司法修習生を経て、法曹(裁判官、検察官、弁護士)の資格を得る。同省によると、全国の合格者は前年より40人増えた1850人で、合格率は23%。前年比0.5ポイント増。全国の受験者は8016人だった(前年比1人増)。

順位	法科大学院	人数
1	中央大学 法科大学院	170人
2	慶應義塾大学 法科大学院	158人
3	東京大学 法科大学院	149人
4	早稲田大学 法科大学院	145人
5	京都大学 法科大学院	128人

※(注) 合格者数100人以上の大学院
予備試験合格者を除く

中央大学

白門祭 (第49回) 理工白門祭

(多摩キャンパス)

テーマ 百花繚乱
日時 10月29日(木)~11月1日(日)
HP <http://hakumonsai.com/>

(後楽園キャンパス)

テーマ 「あっ!ココが好きです。」
日時 11月1日(日)~11月3日(火)
HP <http://rikohakumonsai.web.fc2.com/>

中央大学の文化祭「白門祭」はことし49回目を迎える。法・経済・商・文・総合政策各学部が集う多摩キャンパスで「白門祭」、理工学部の後楽園キャンパスでは「理工白門祭」。最新情報は中大HPをご覧ください。